

【令和7年度第1回地域産業動向調査】

「人手不足について」

西武信用金庫 経営企画部

地域経済産業研究センター

keieikikaku@seibushinkin.com

現在、多くの中小事業者が「人手不足」に直面すると同時に賃上げの動きも高まっています。一部では事業の継続や成長に深刻な影響もあり、大きな経済課題の一つになっています。

この度、当金庫とお取引のある法人のお客さまにご協力をいただき、「人手不足について」というテーマでアンケート調査を行いました。当レポートがお客さまの経営に少しでもお役に立てれば幸いです。

〈調査の概要〉

(1) 調査の対象

2025年3月末時点の法人のお客さまのうち、3,317社を抽出して対象先としました。

(抽出条件)

下記の①～③を満たすお客さま

- ① 決算書を提出いただいている
- ② 一定以上の取引があり営業担当者が訪問している
- ③ 従業員数が一定数以上

(2) 調査事項

- ① 人手不足に関する内容
- ② 定例調査「景況感・業況等について」

(3) アンケート回答の回収方法

営業担当者による聞き取り調査

(4) 調査期間

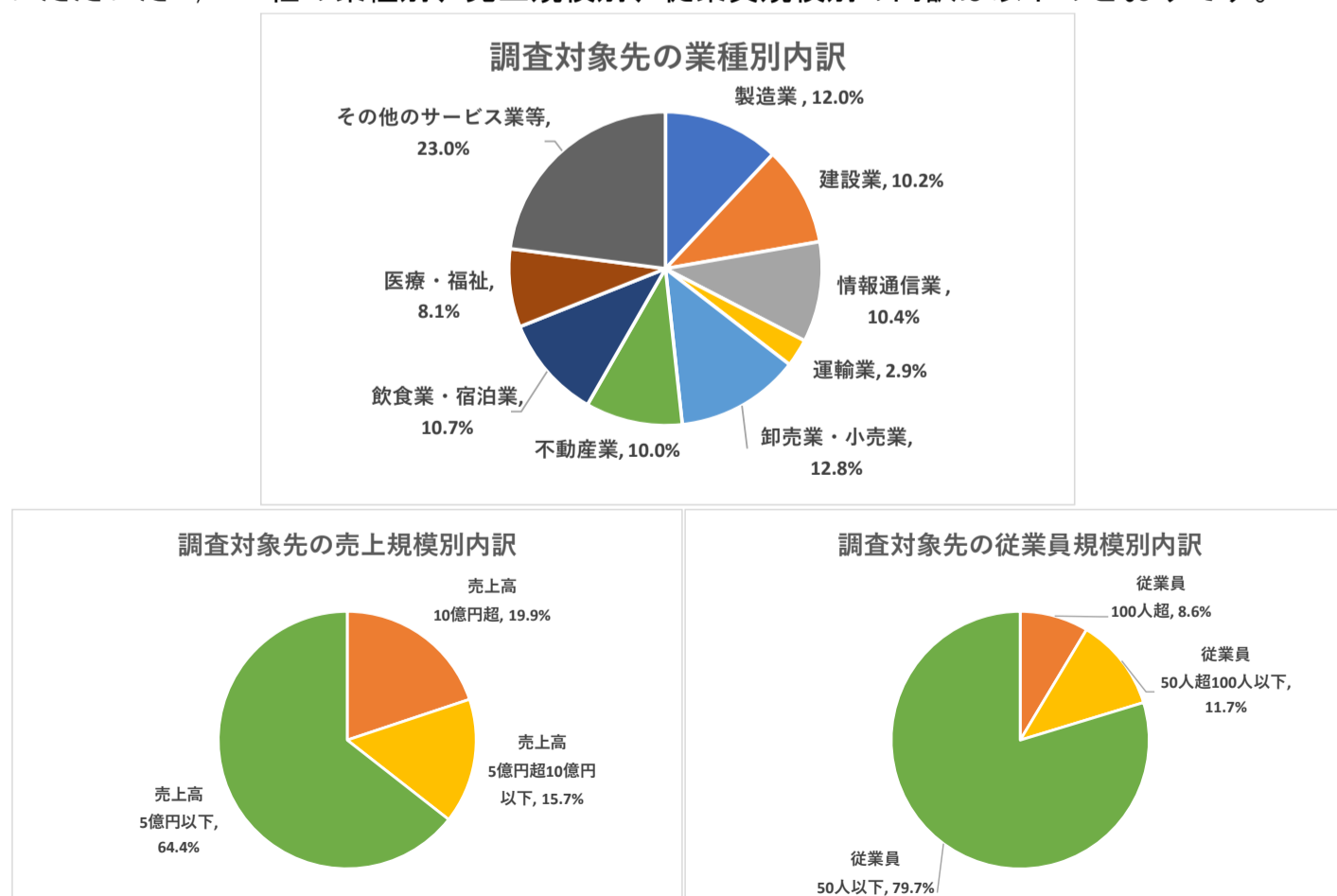
2025年8月1日～9月22日

(5) 回答社数

3,175社 (回答率95.7%)

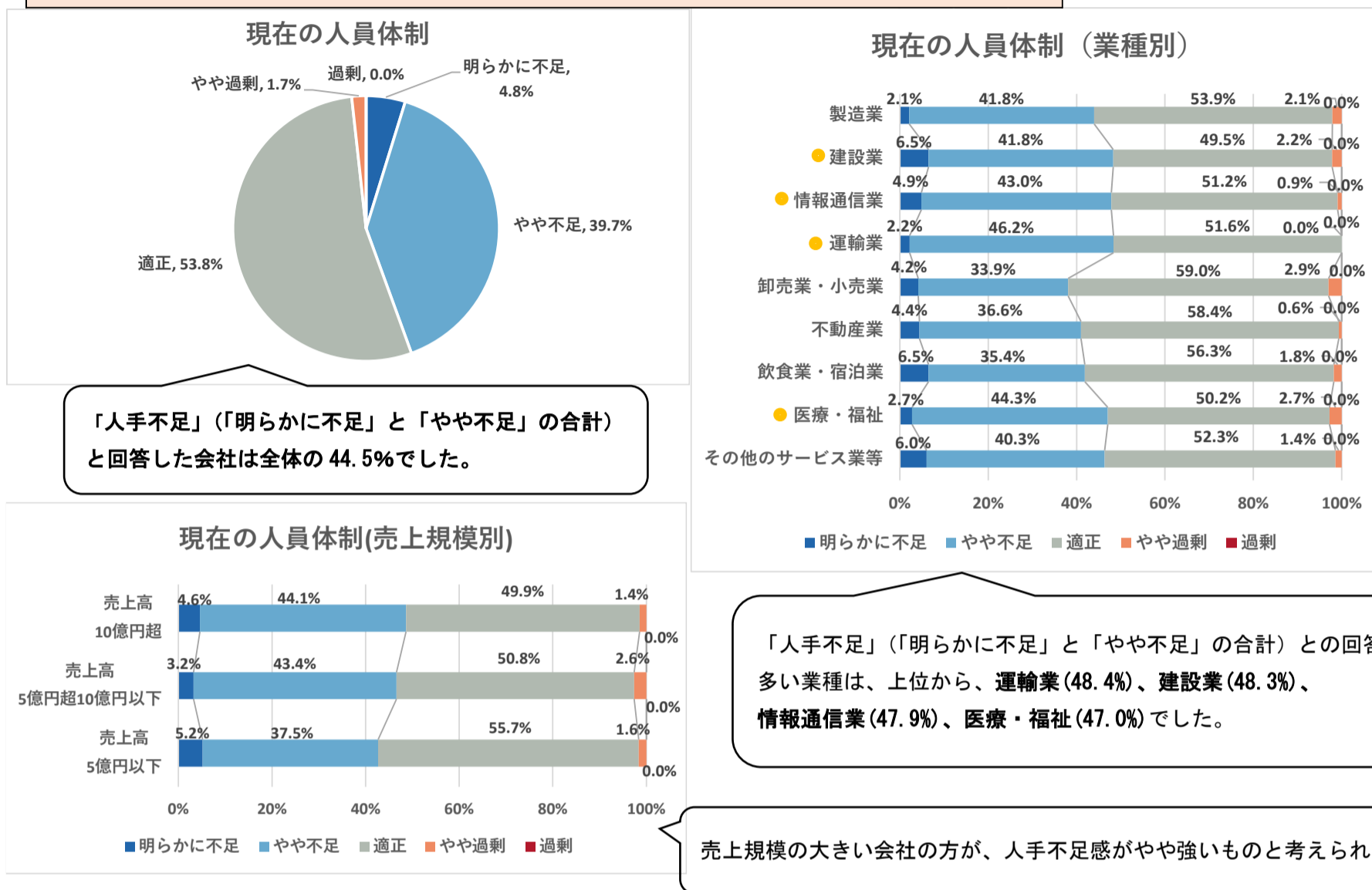
1. 調査対象先の概要

回答いただいた3,175社の業種別、売上規模別、従業員規模別の内訳は以下のとおりです。

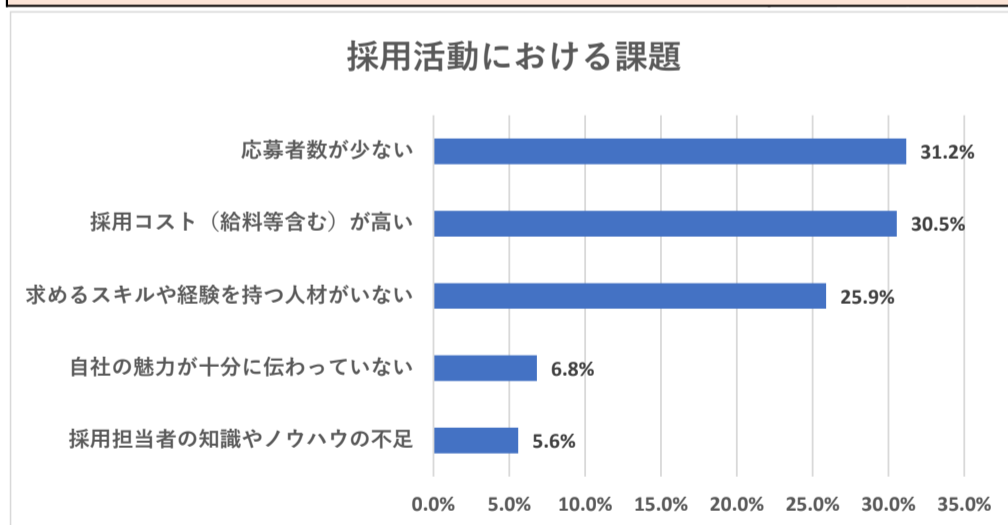


2. テーマ「人手不足について」調査結果

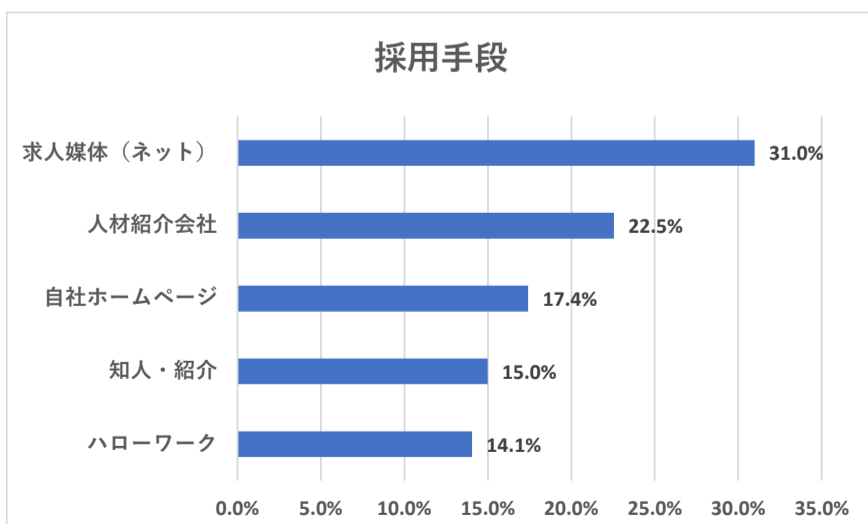
質問A) 現在の従業員数に対して、御社の人員体制についてどのように感じていますか



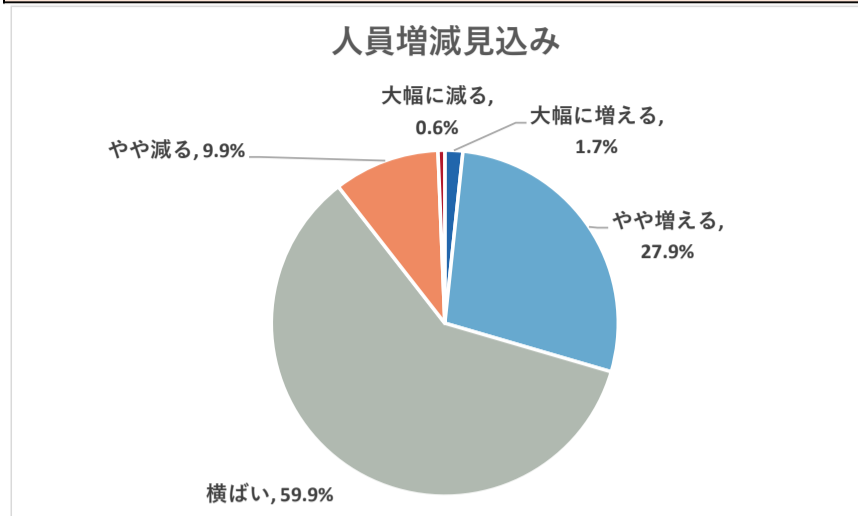
質問B) 採用活動において、課題に感じていることは何ですか ※複数選択可



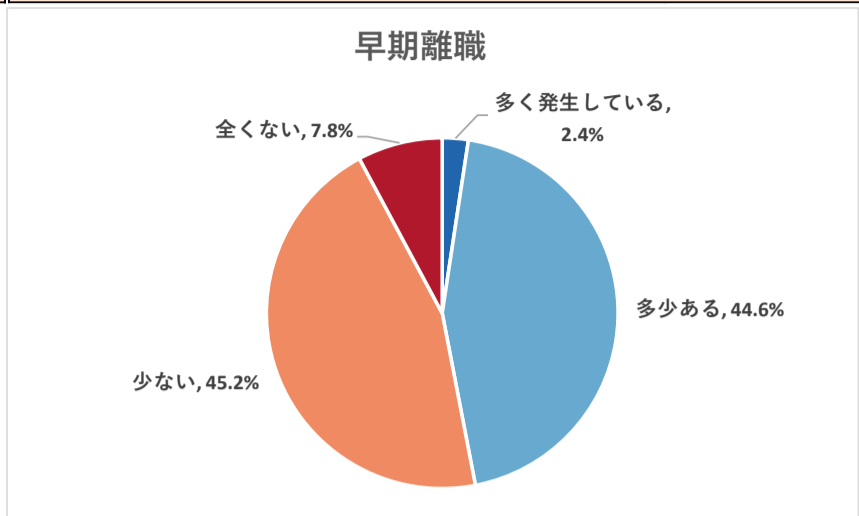
質問C) 採用手段で利用している方法は何ですか ※複数選択可



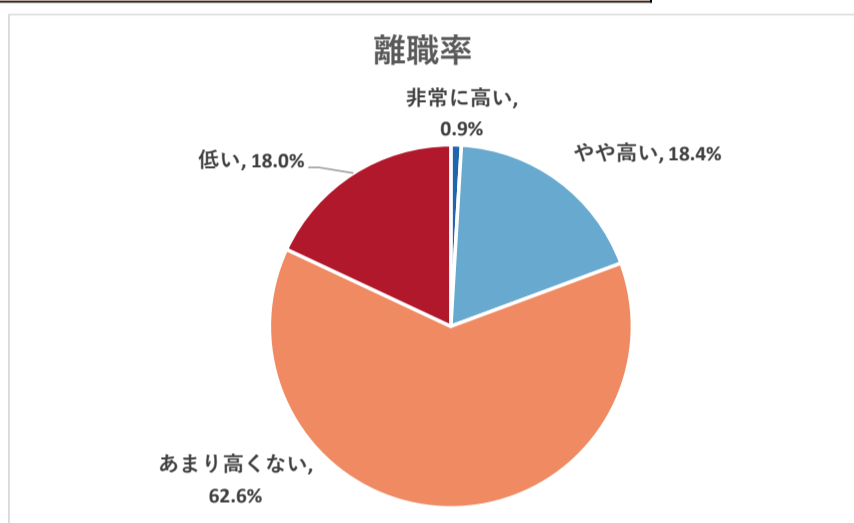
質問D) 今後3年間で人員の増減をどのように見込んでいますか



質問E) 採用後の早期離職（3年以内）は発生していますか



質問F) 従業員の離職率が高いと感じますか

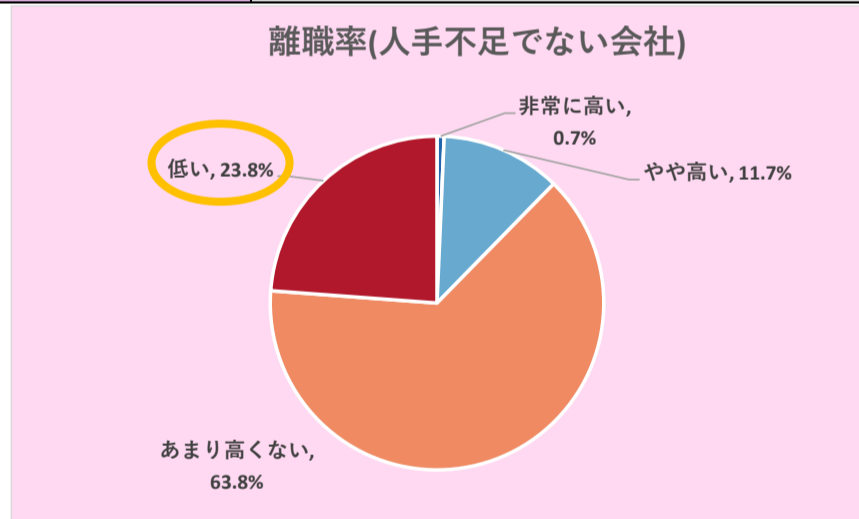
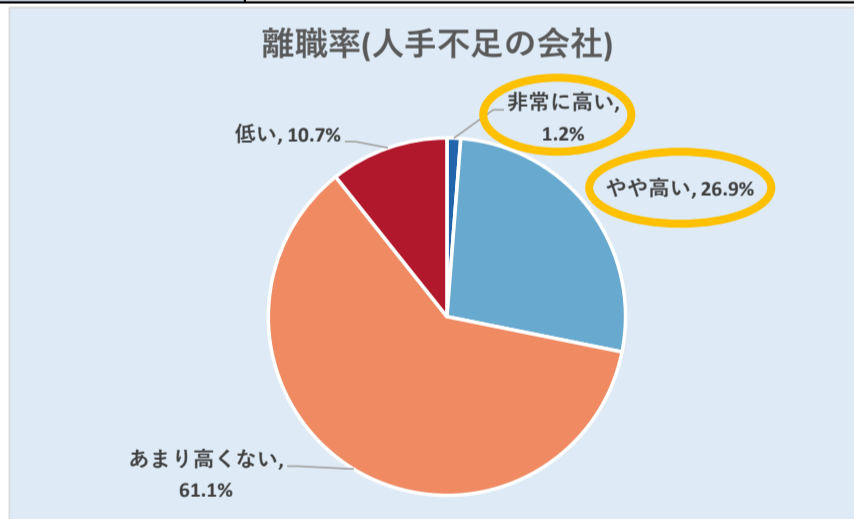


質問Aの回答結果により

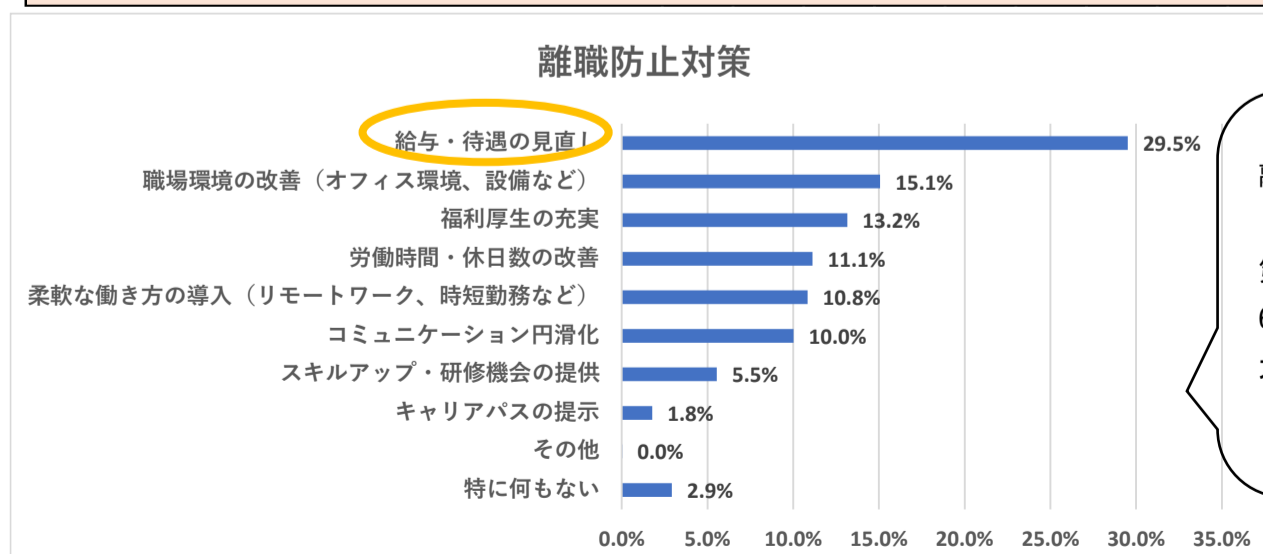
「人手不足の会社」と「人手不足でない会社」に分けて比較しました。「人手不足の会社」の方が「人手不足でない会社」に比べ、離職率が「非常に高い」と「やや高い」の回答が共に多くありました。また同時に、「人手不足でない会社」の方が、離職率が「低い」との回答が多くありました。以上から、「人手不足の会社」は、何らかの離職率低減策をとる必要があります。人手不足解消のためには、採用の強化以上に離職を防止することが有効と考えられます。

「現在の従業員数に対して、御社の人員体制についてどのように感じていますか(質問A)」の回答結果により、次の2つのグループに分けて比較

人手不足の会社	「明らかに不足」「やや不足」と回答	人手不足でない会社	「適正」「やや過剰」「過剰」と回答
---------	-------------------	-----------	-------------------

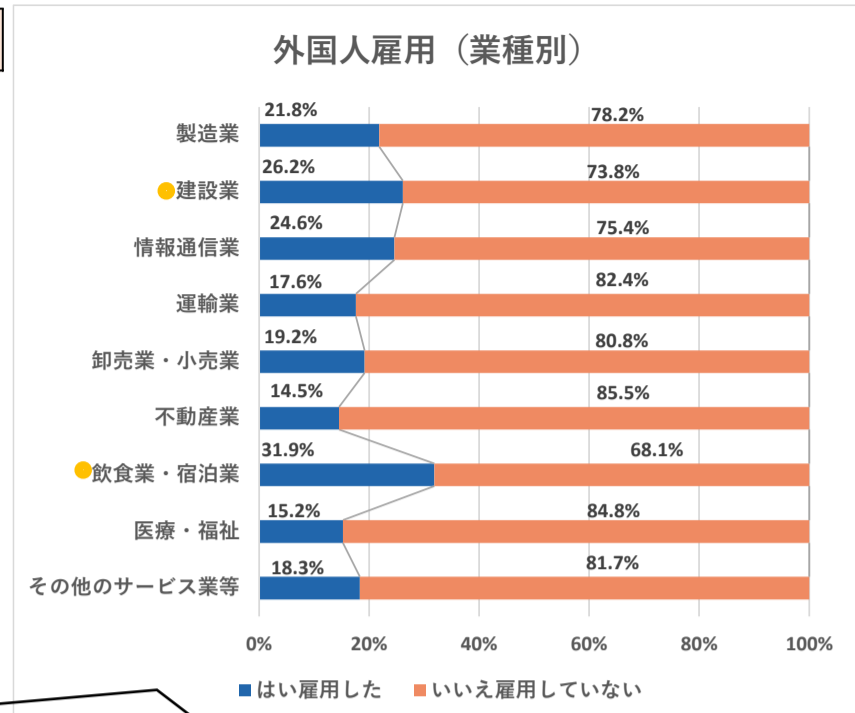
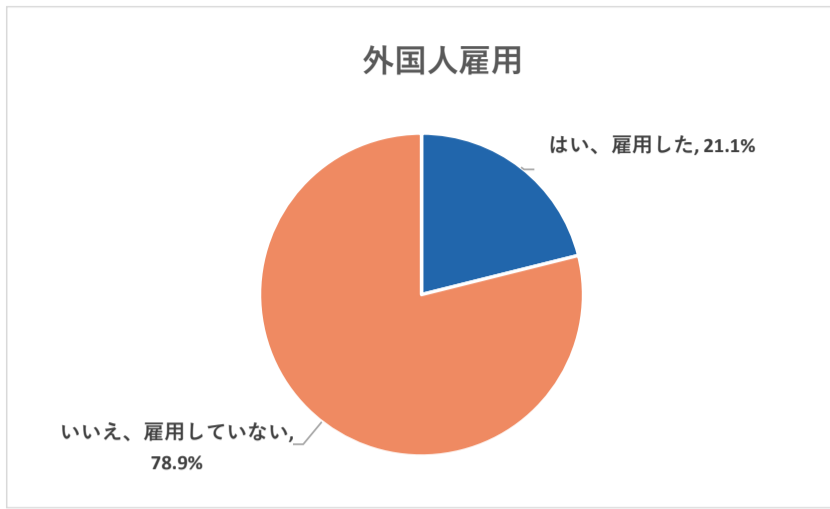


質問G) 離職を防止するために着手している、あるいは着手しようとしている対策は何ですか ※複数選択可



離職防止対策に関しては、「給与・待遇の見直し」との回答が抜き出て第1位でしたが、2位の「職場環境の改善」から6位の「コミュニケーション円滑化」までは大きな差はなく、同時に複数の対策に着手して(しようとして)いるものと考えられます。

質問H-1) 過去2年間の間に外国人を雇用しましたか

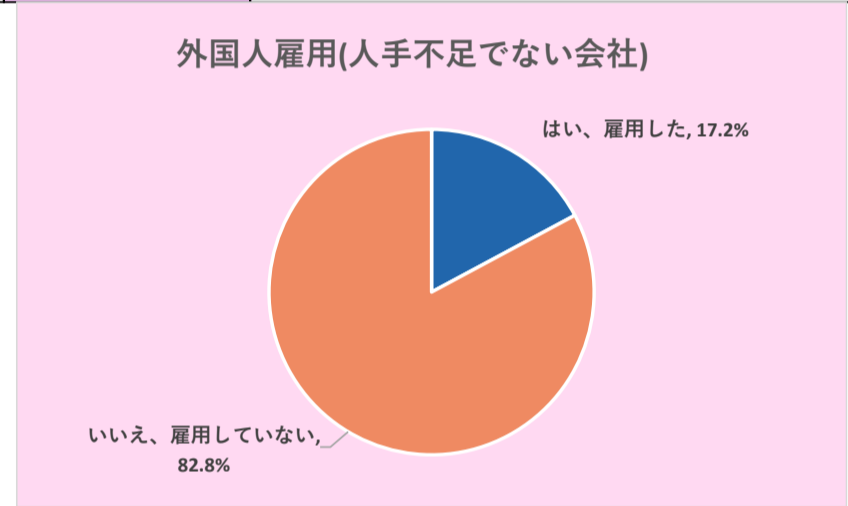
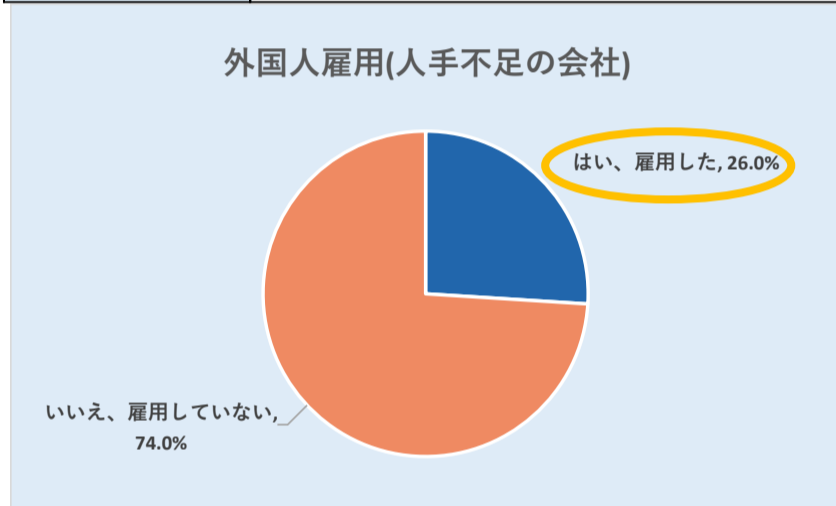


過去2年間に外国人を「雇用了」との回答は全体の21.1%でした。

外国人を「雇用了」と回答した業種は、**飲食業・宿泊業(31.9%)**が最も多く、次いで**建設業(26.2%)**でした。

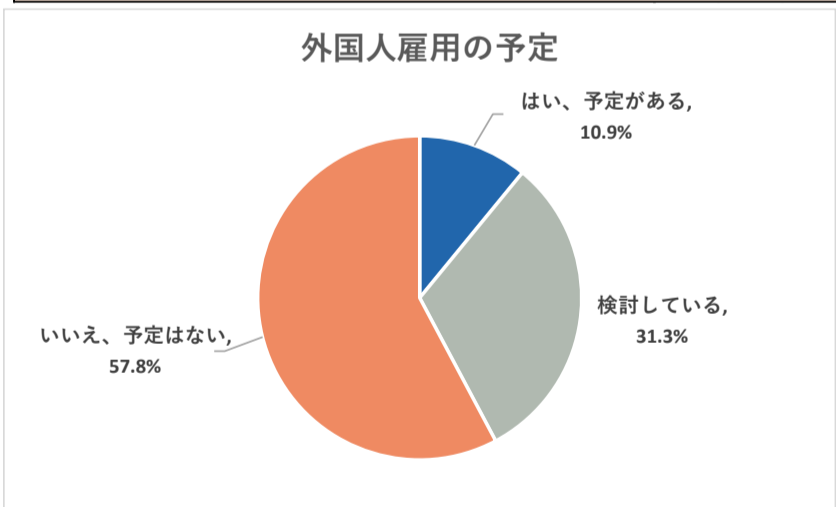
「現在の従業員数に対して、御社の人員体制についてどのように感じていますか(質問A)」の回答結果により、次の2つのグループに分けて比較

人手不足の会社	「明らかに不足」「やや不足」と回答	人手不足でない会社	「適正」「やや過剰」「過剰」と回答
---------	-------------------	-----------	-------------------



「人手不足の会社」の方が、「人手不足でない会社」に比べ過去外国人を「雇用了」との回答が多くありました。

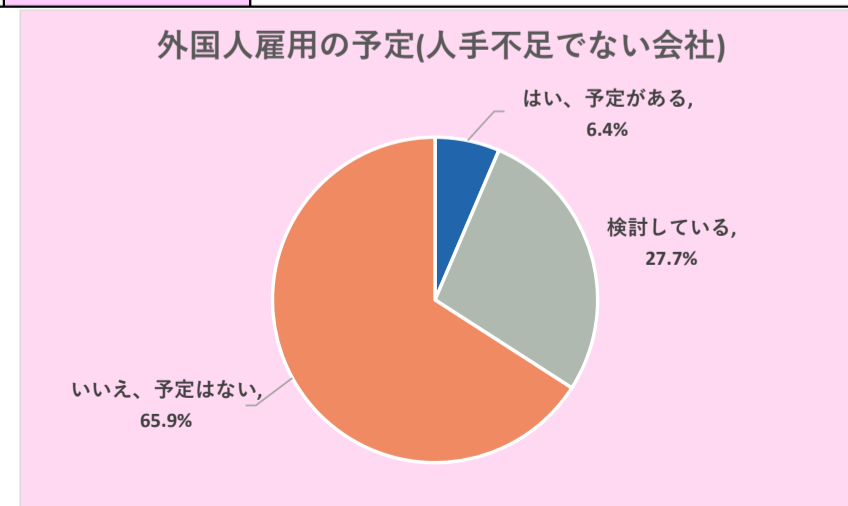
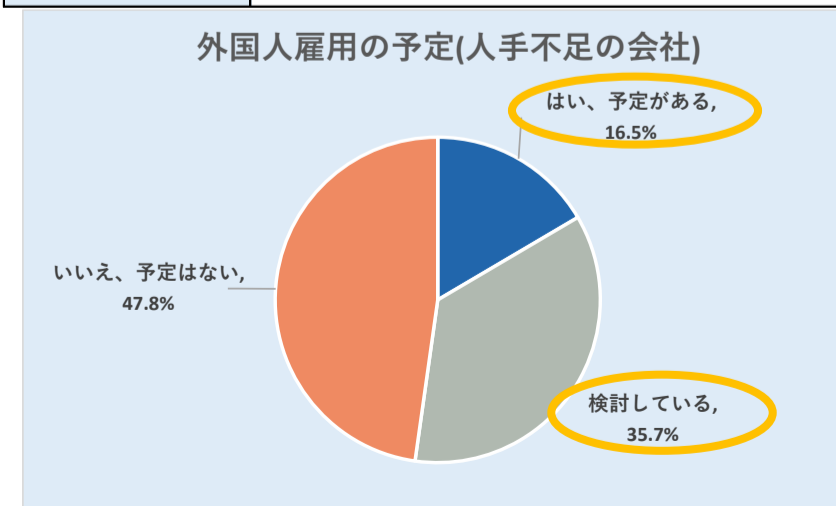
質問H-2) 今後2年間の間に外国人を雇用する予定はありますか



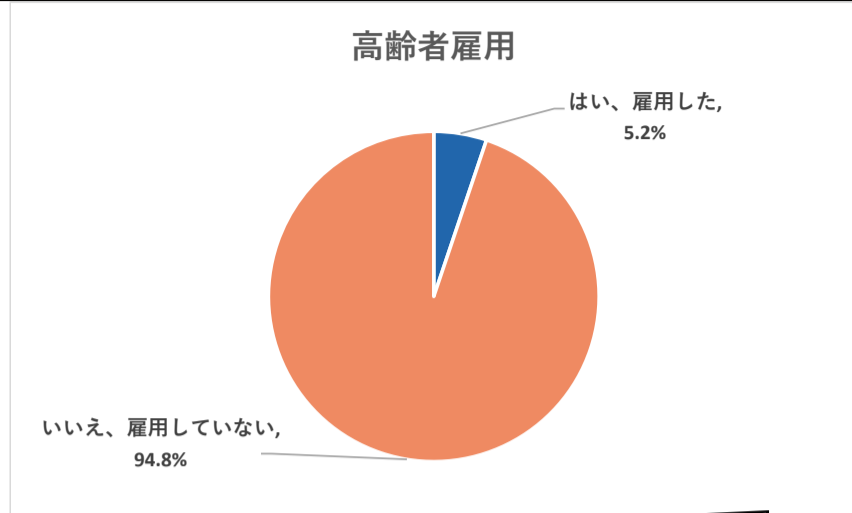
今後の外国人雇用の予定に関しても、「人手不足の会社」の方が、「人手不足でない会社」に比べ「はい、予定がある」「検討している」の回答が共に多くあり、「人手不足の会社」は今後も外国人の雇用に積極的であることがわかります。

「現在の従業員数に対して、御社の人員体制についてどのように感じていますか(質問A)」の回答結果により、次の2つのグループに分けて比較

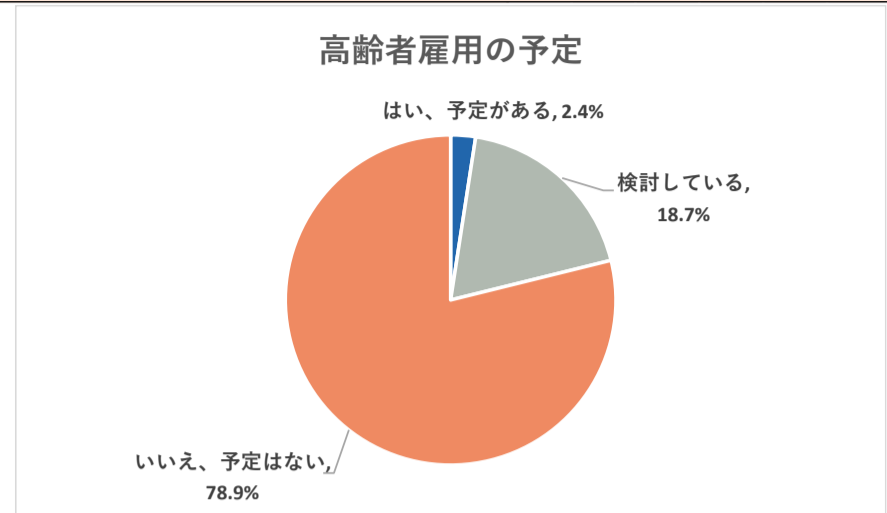
人手不足の会社	「明らかに不足」「やや不足」と回答	人手不足でない会社	「適正」「やや過剰」「過剰」と回答
---------	-------------------	-----------	-------------------



質問I-1) 過去2年間の間に70歳以上の高齢者を雇用しましたか

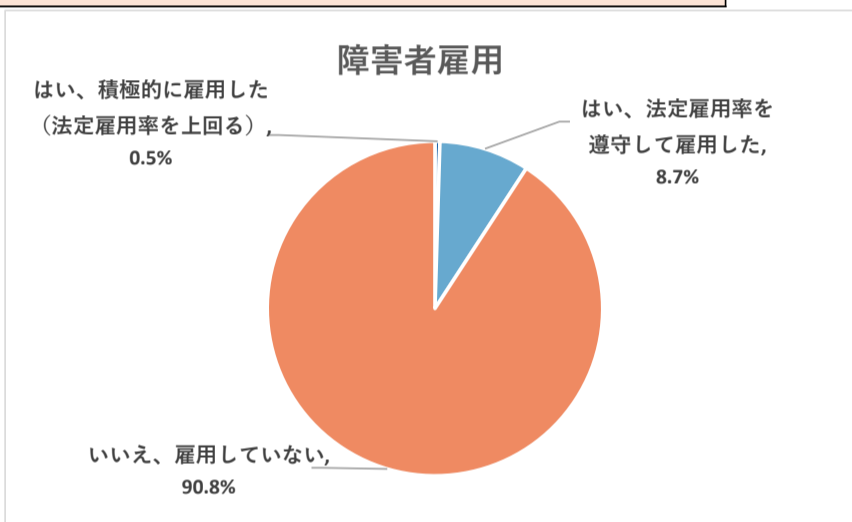


質問I-2) 今後2年間の間に70歳以上の高齢者を雇用する予定はありますか

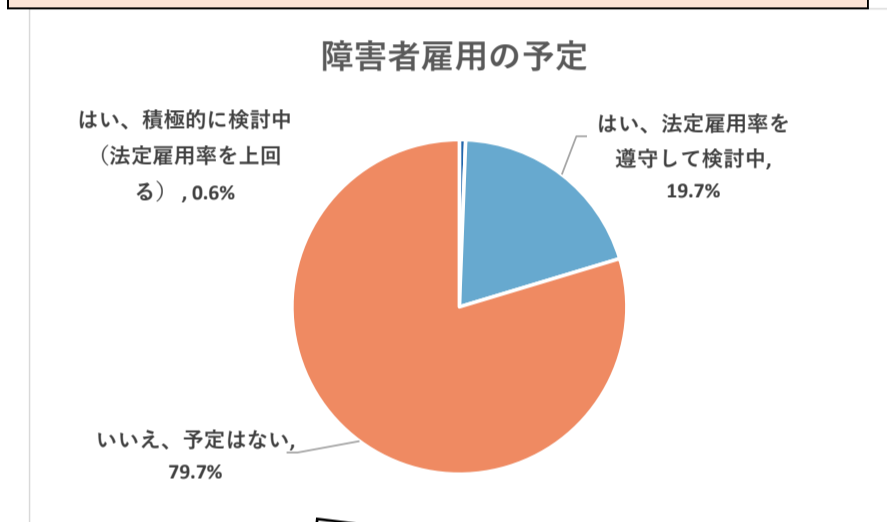


- ・過去2年間に70歳以上の高齢者を「雇用した」との回答は全体で5.2%と、外国人と比べても少ないことがわかります。
- ・今後「予定がある」との回答は2.4%で、「検討している」を含めても21.1%にとどまりました。
- ・定年年齢の引き上げのニュースを耳にすることが多くなりましたが、70歳以上の高齢者雇用を予定している会社はさほど多くないことがわかります。

質問J-1) 過去2年間の間に障害者を雇用しましたか

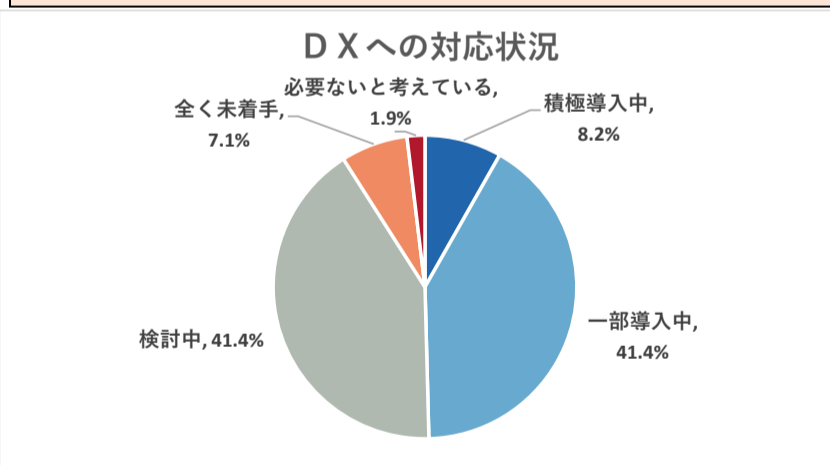


質問J-2) 今後2年間の間に障害者を雇用する予定はありますか



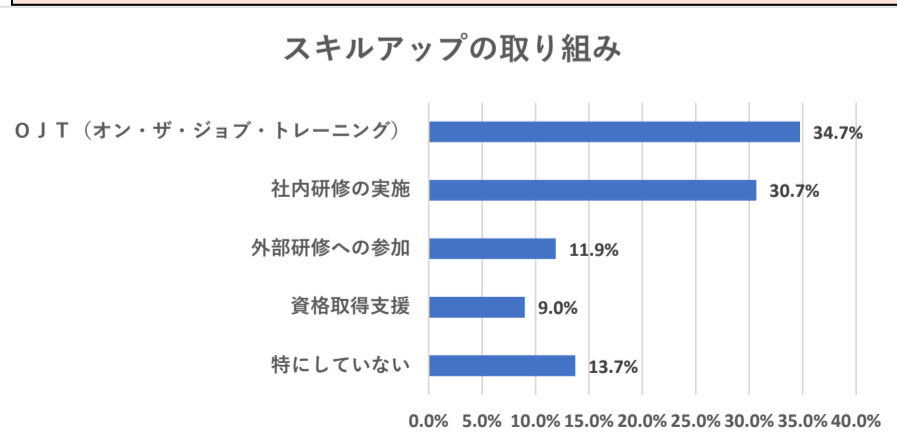
- ・「法定雇用率を上回る」障害者の積極的な雇用は、過去、将来共に1%を下回る低調なものでした。
- ・「法定雇用率を遵守」という点では、過去に「雇用した」が8.7%であるのに対し、今後については「検討中」が19.7%と2倍以上あり、制度改正への対応を図る様子が見えそうです。

質問K) 業務効率化のためのDX（デジタル化）への対応状況はいかがですか

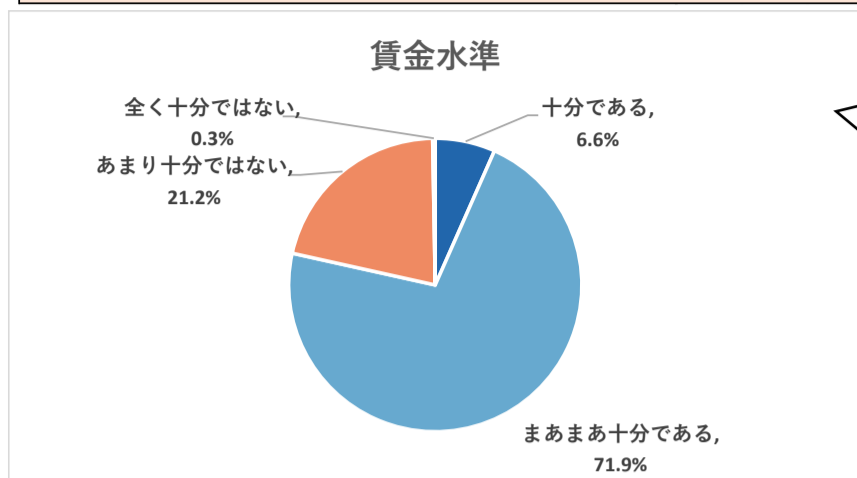


- ・業務効率化のためのDX（デジタル化）への対応状況に関しては「積極導入中」「一部導入中」合わせて49.6%にとどまりました。
- ・その一方で「検討中」が41.4%と、関心の高さがうかがえ今後の進展が期待されます。

質問L) 従業員のスキルアップのために、どのような取り組みをしていますか ※複数選択可



質問M)現在の報酬（賃金）水準は、人材の確保・定着に十分であると感じますか

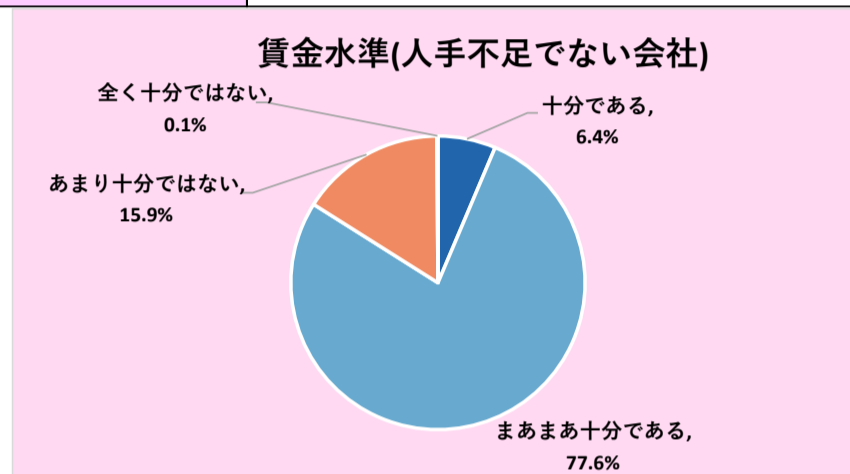
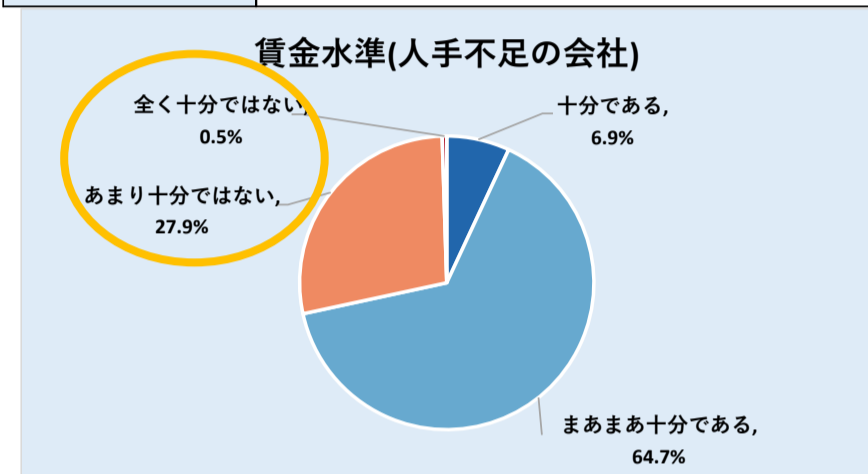


現在の報酬（賃金）水準について、人材の確保・定着に「十分である」「まあまあ十分である」合計の回答は78.5%と高水準でした。

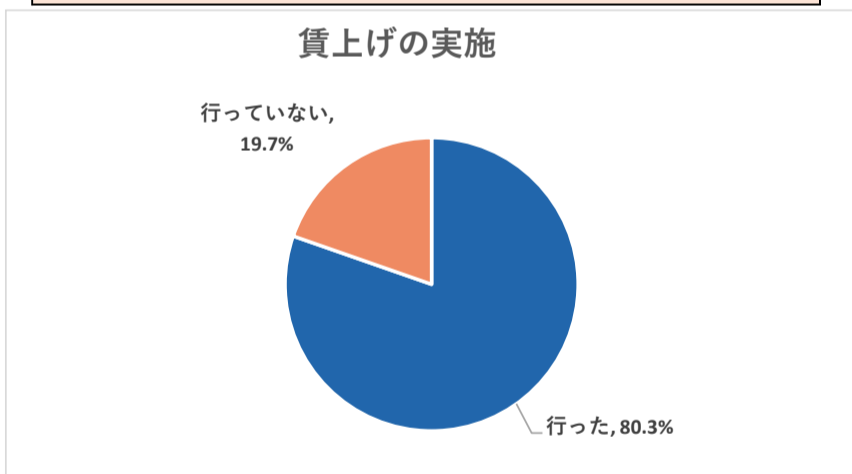
一方で、「人手不足の会社」の方が、「人手不足でない会社」に比べ、「まったく十分でない」「あまり十分でない」の回答が共に多いことから、「人手不足の会社」の方が賃金引上げの必要性を強く感じていることがわかります。

「現在の従業員数に対して、御社の人員体制についてどのように感じていますか(質問A)」の回答結果により、次の2つのグループに分けて比較

人手不足の会社	「明らかに不足」「やや不足」と回答	人手不足でない会社	「適正」「やや過剰」「過剰」と回答
---------	-------------------	-----------	-------------------

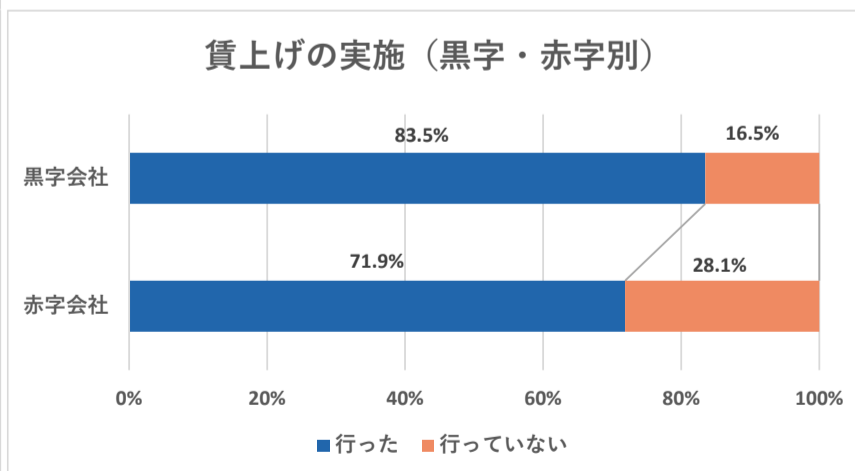
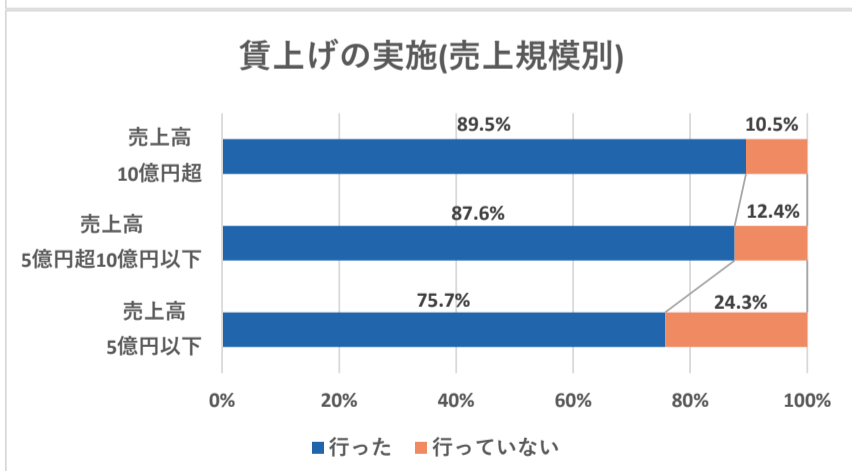


質問N)過去2年間（今年度含む）に賃上げを行いましたか

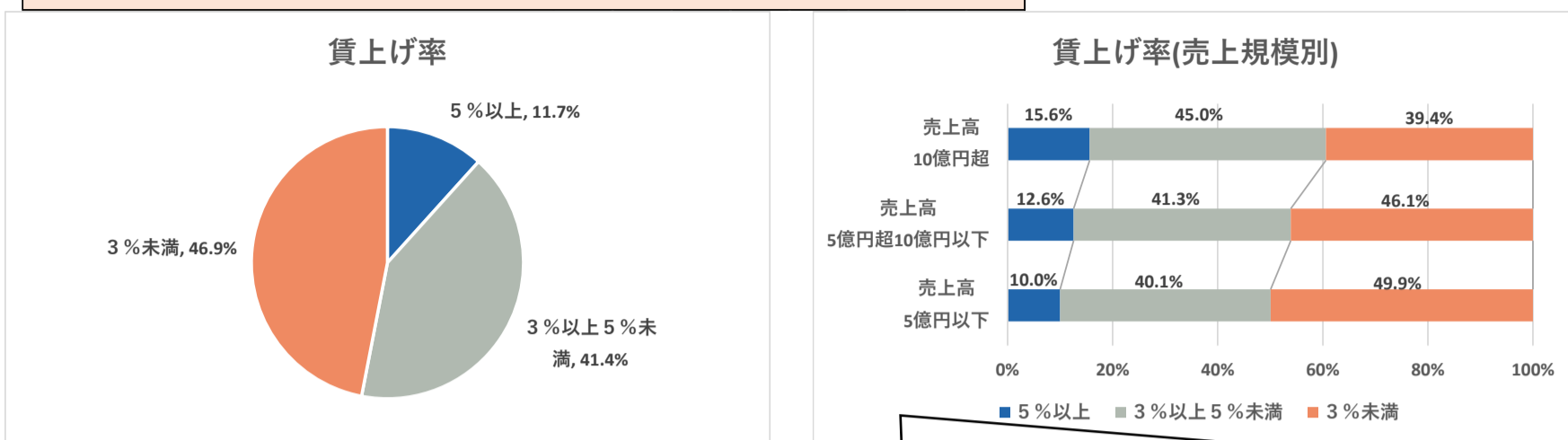


過去2年間（今年度含む）に賃上げを「行った」との回答は、全体の80.3%と高水準で、業種による差はあまり見られませんでした。

対象先を、売上規模別、黒字・赤字別に分類して比較すると、それぞれ、売上規模の大きい順に、また黒字会社が赤字会社に比べて、賃上げを「行った」との回答が多いことがわかります。



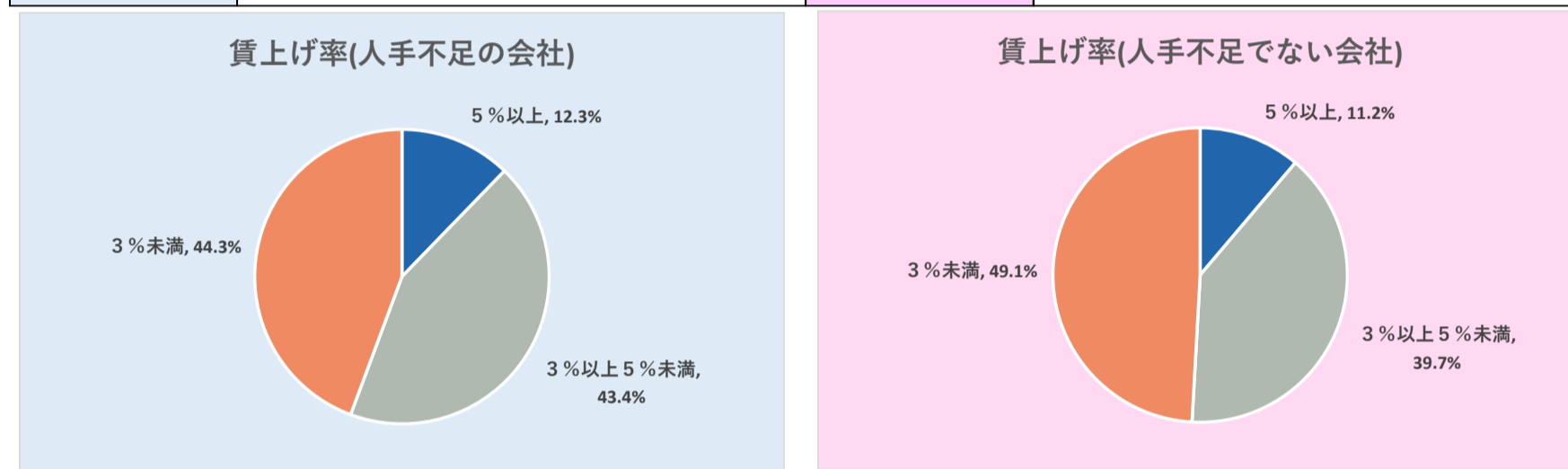
質問0) 質問Nで行ったと回答された方にうかがいます。賃上げ率はどれほどですか



- ・賃上げを「行った」会社に対する賃上げ率についての質問です。2025年度春闘では5.25%（連合集計）との結果でしたが、「5%以上」との回答は全体の11.7%にとどまり一様ではないことがわかります。
- ・売上規模別に分けて比較すると、売上規模の大きい順に賃上げ率が高い傾向がありました。

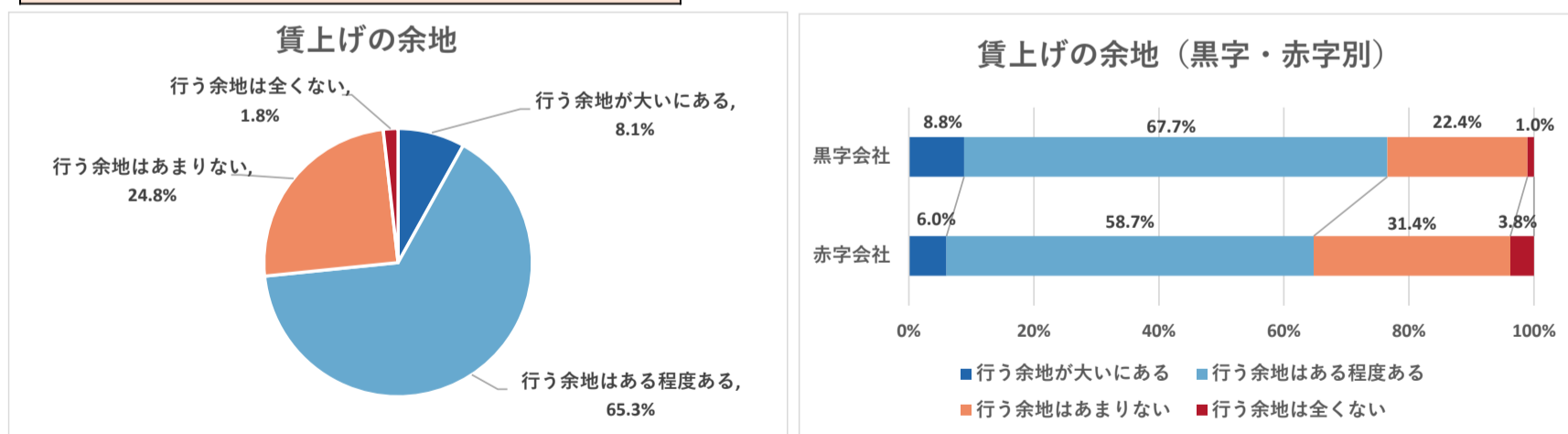
「現在の従業員数に対して、御社の人員体制についてどのように感じていますか(質問A)」の回答結果により、次の2つのグループに分けて比較

人手不足の会社	「明らかに不足」「やや不足」と回答	人手不足でない会社	「適正」「やや過剰」「過剰」と回答
---------	-------------------	-----------	-------------------



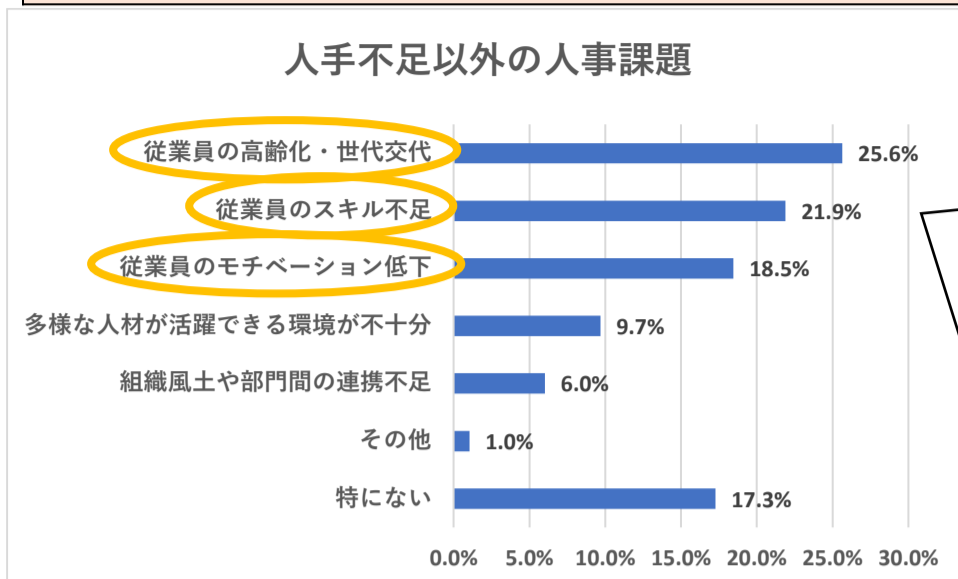
- ・「人手不足の会社」と「人手不足でない会社」に分けて比較すると、「人手不足の会社」の方が「人手不足でない会社」より賃上げ率がやや高い傾向がみられますが、それほど大きな差ではありませんでした。
- ・このことから、人手不足であるかどうかに関わらず賃上げが進んでいるものと考えられます。

質問P) 今後2年間に賃上げを行う余地はありますか



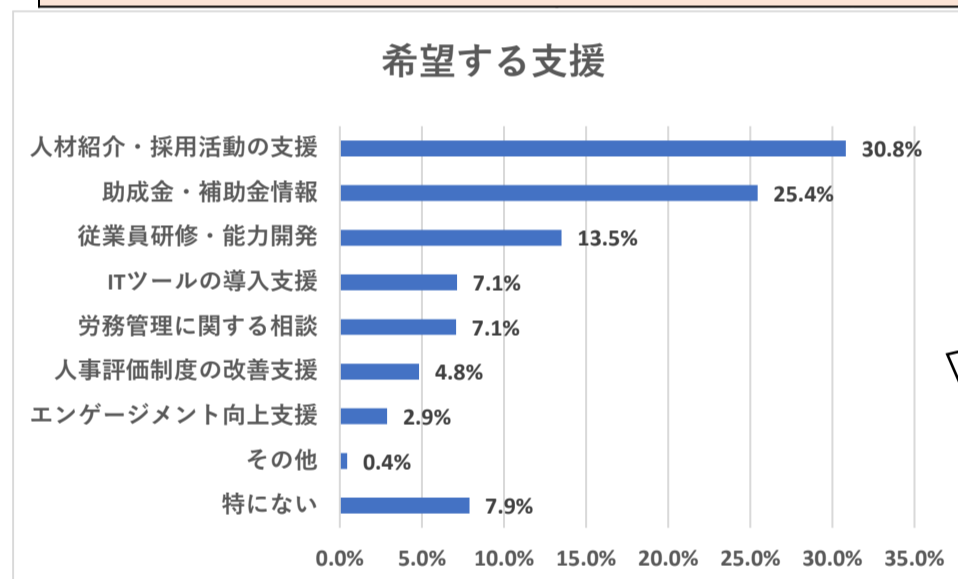
- ・今後2年間に賃上げを「行う余地がある」（「行う余地が大いにある」と「行う余地はある程度ある」の合計）との回答は73.4%と高水準でした。
- ・黒字会社と赤字会社を分けて比較すると、黒字会社は賃上げを「行う余地がある」との回答が多く、赤字会社は賃上げを「行う余地がない」との回答が多くありましたが、これはある意味当然とも言えます。
- ・一方で赤字会社でも賃上げを「行う余地がある」（「行う余地が大いにある」と「行う余地はある程度ある」の合計）との回答が64.7%もあることから、業績の良し悪しにかかわらず賃上げを行わざるを得ない事情が見て取れます。赤字会社が賃上げを続けるには赤字の解消が不可欠であり、本業を黒字化するための仕組み作りが今後ますます必要になってくると考えられます。

質問Q) 人手不足以外に、現在「人」に関しどのような課題を感じていますか ※複数選択可



- ・ 人手不足以外の課題として、「従業員の高齢化・世代交代」が第1位、次いで「従業員のスキル不足」「従業員のモチベーション低下」と続いています。
- ・ 「従業員の高齢化・世代交代」は、技術の伝承などの面もあり人手不足とは別の課題であると考えられます。
- ・ 従業員の「スキル」や「モチベーション」に関しても、人手不足とは別の課題です。
- ・ ただし一方で、「高齢化・世代交代」への対応、「スキル」や「モチベーション」の向上により、結果として効率性や生産性が上がり人手不足の解消につながる可能性があります。
- ・ 新たな従業員を採用することが、人手不足を解消するためのわかりやすい直接的な解決策ですが、それ以外の様々な人事課題の解決が人手不足解消への近道になることもあり、あわせて検討されることをお勧めします。

質問R) 「人」に関する課題解決のために、どのような支援があれば嬉しいですか ※複数選択可



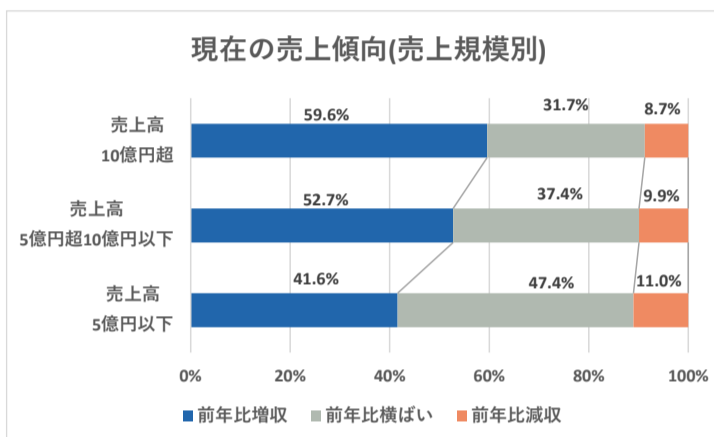
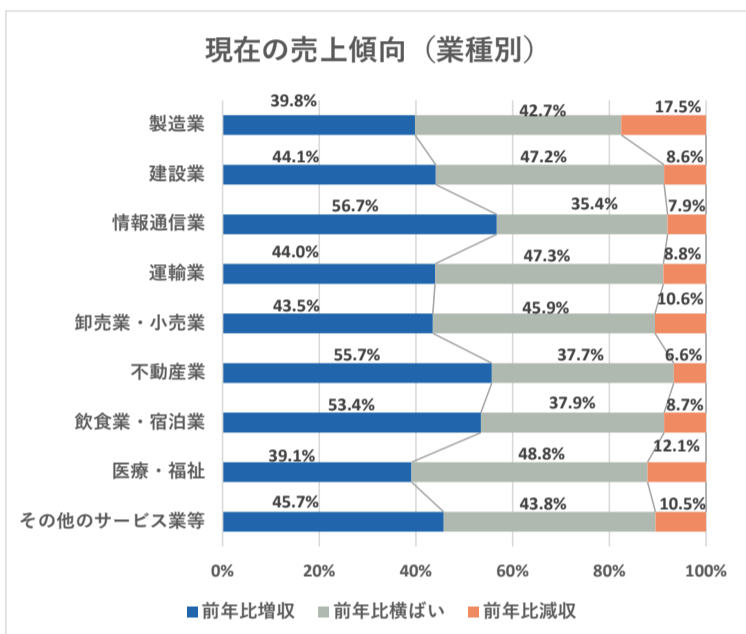
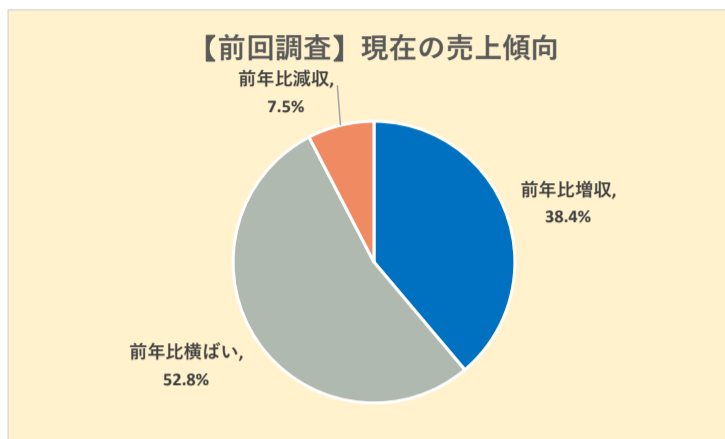
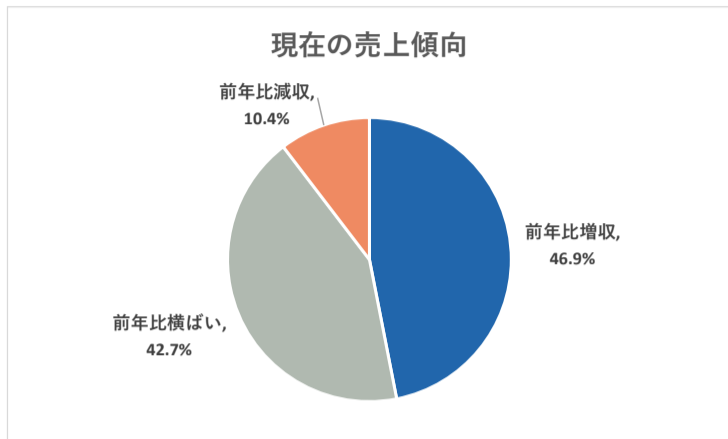
お客さまが希望される支援は、「人材紹介・採用活動の支援」が第1位でしたが、「助成金・補助金情報」の他、「人」に関する支援のご要望をたくさんいただきました。

ぜひ今一度、御社に何が必要か、私たちも一緒に考えさせていただけませんか。

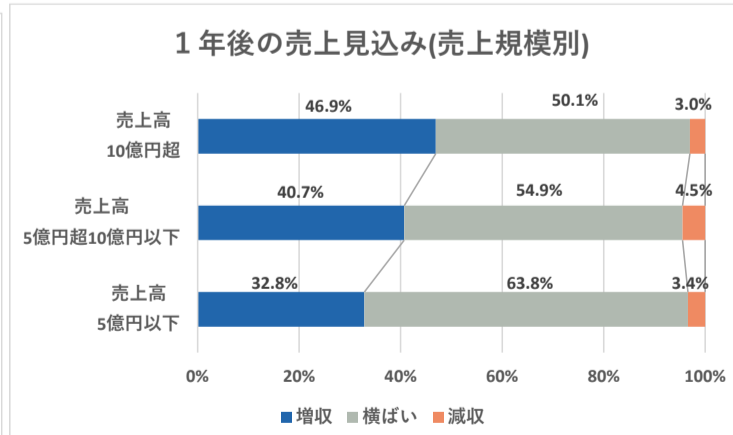
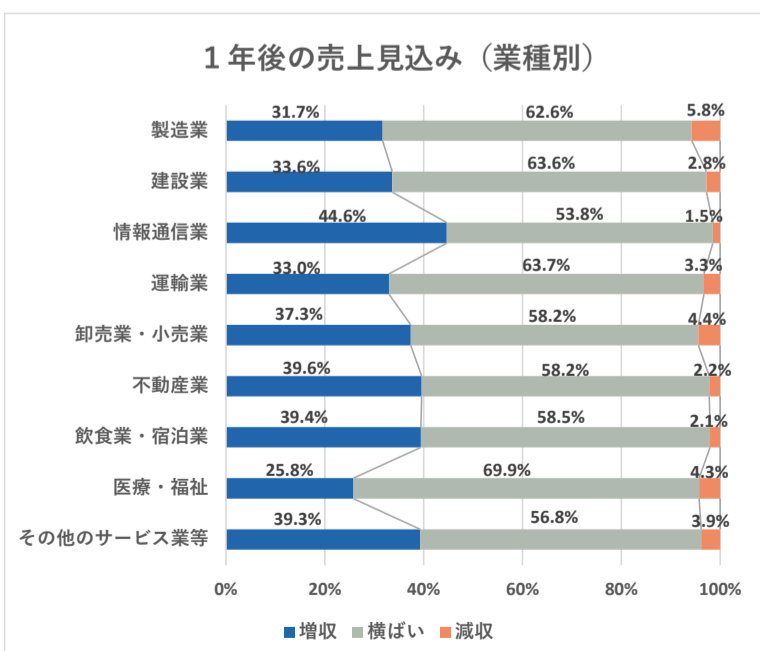
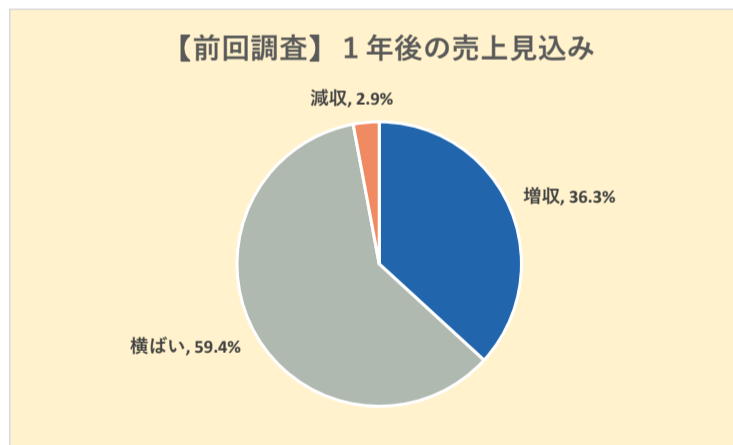
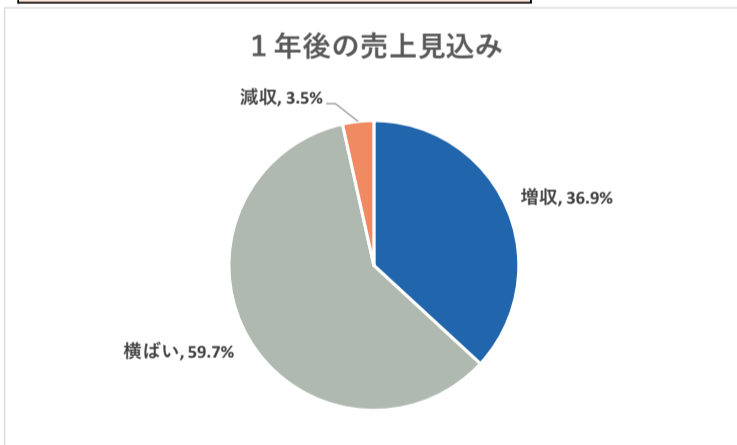
3. 定例調査「景況感・業況について」調査結果

※【前回調査】は、過去（2025年2月～3月）に実施した同様の調査の集計結果から、今回の調査対象と重複するお客さま（1,726社）の回答を抜き出して再集計したものです。

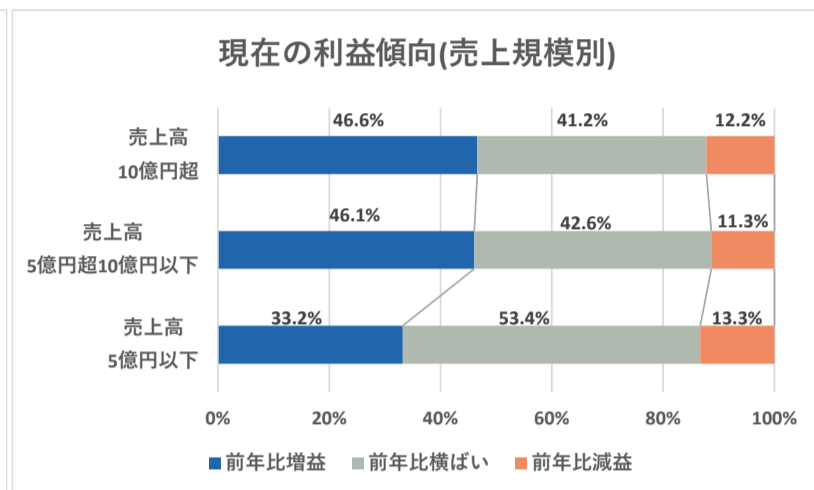
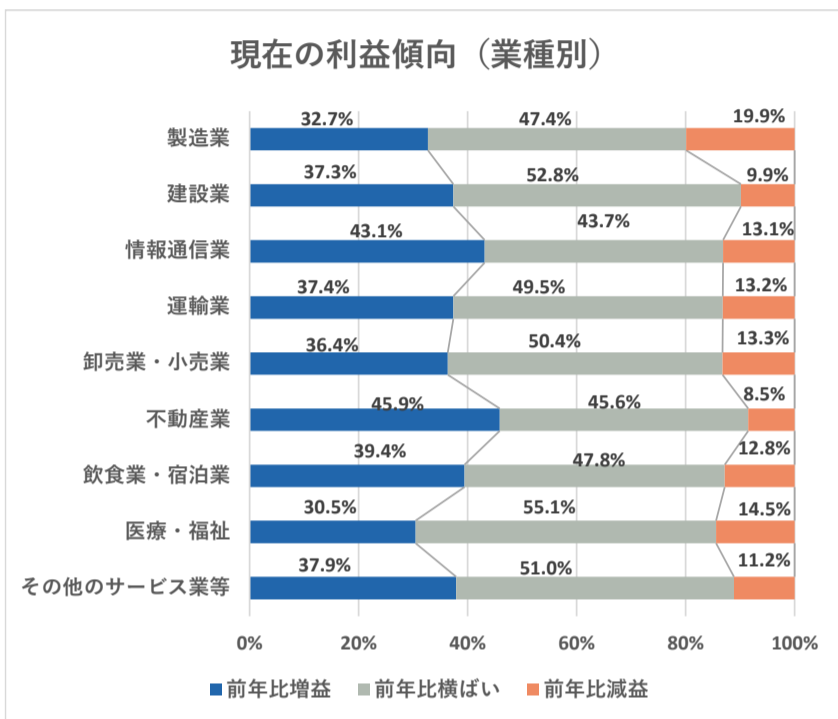
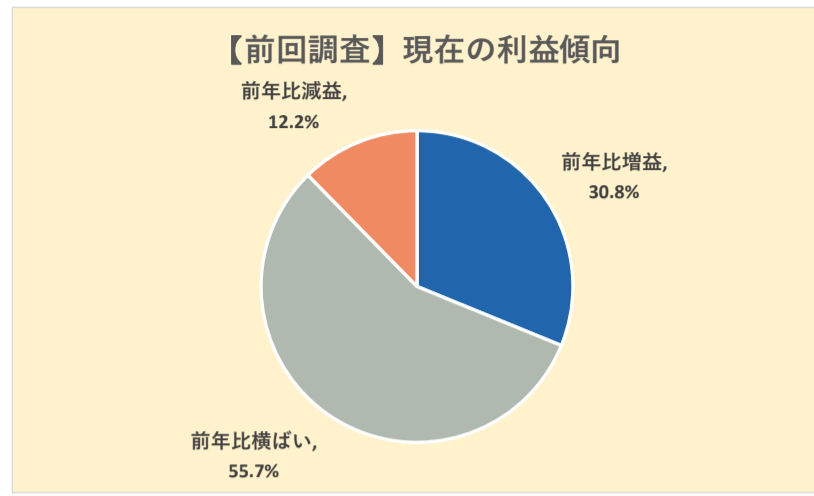
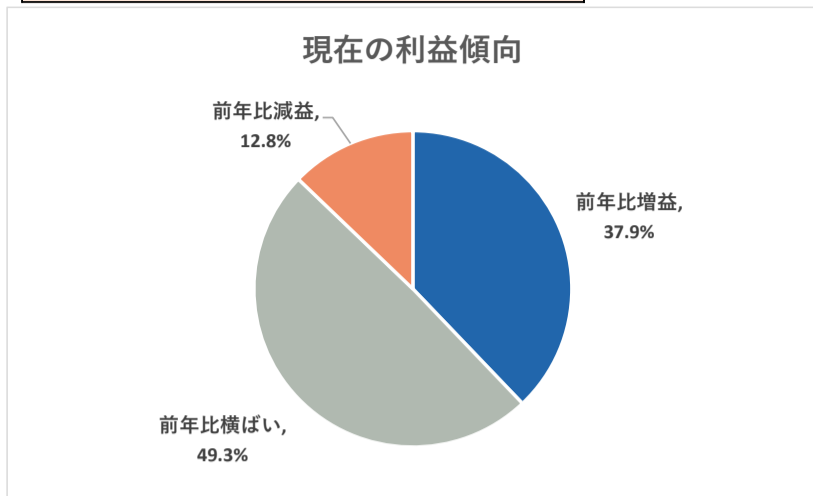
質問S) 現在の売上の傾向はいかがですか



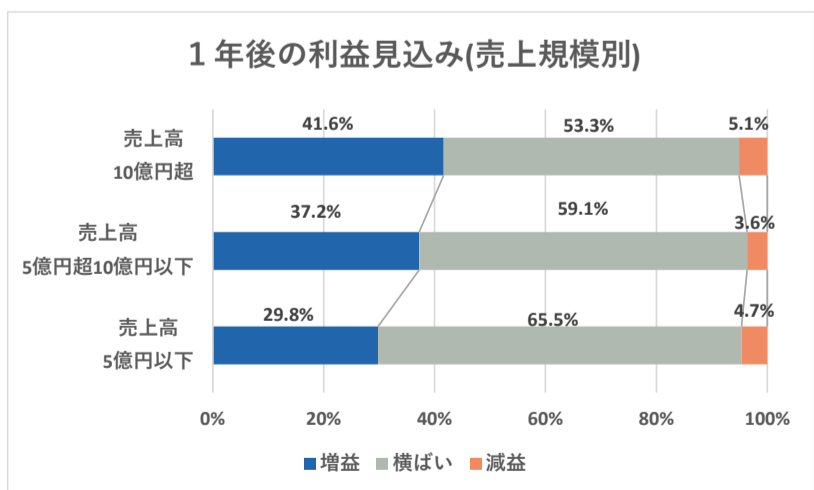
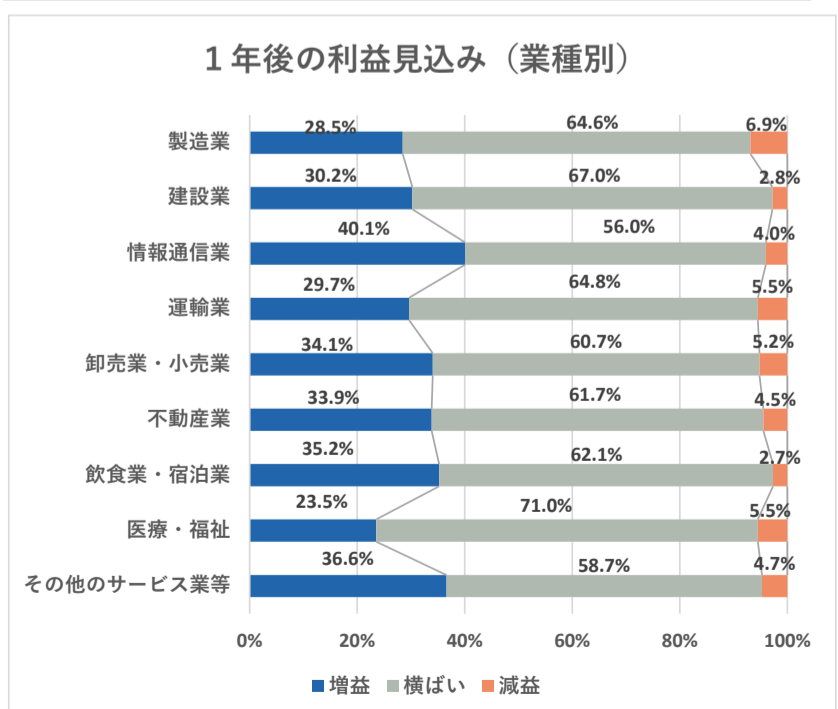
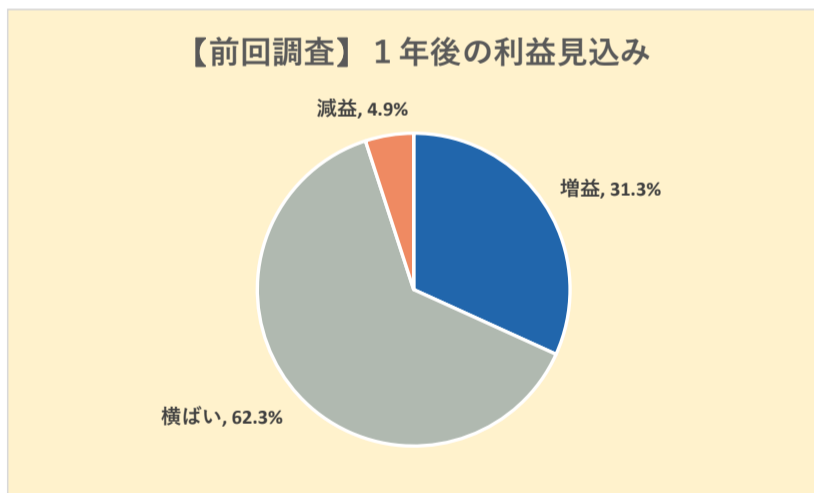
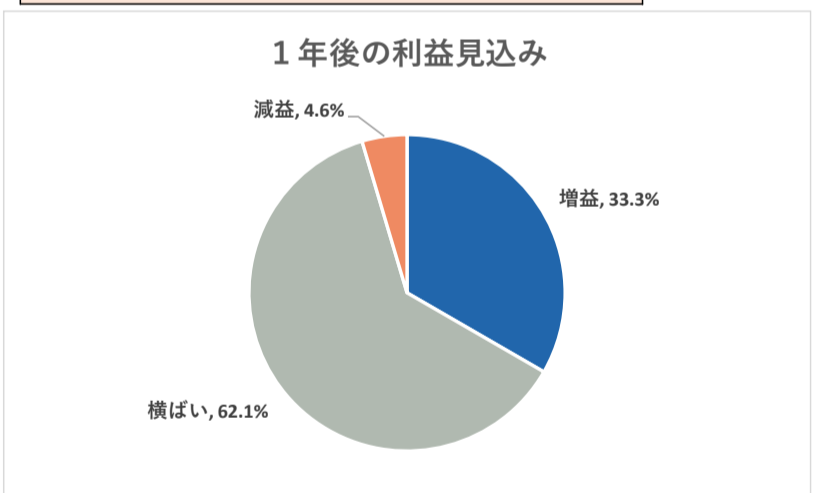
質問T) 1年後の売上の見込みはいかがですか



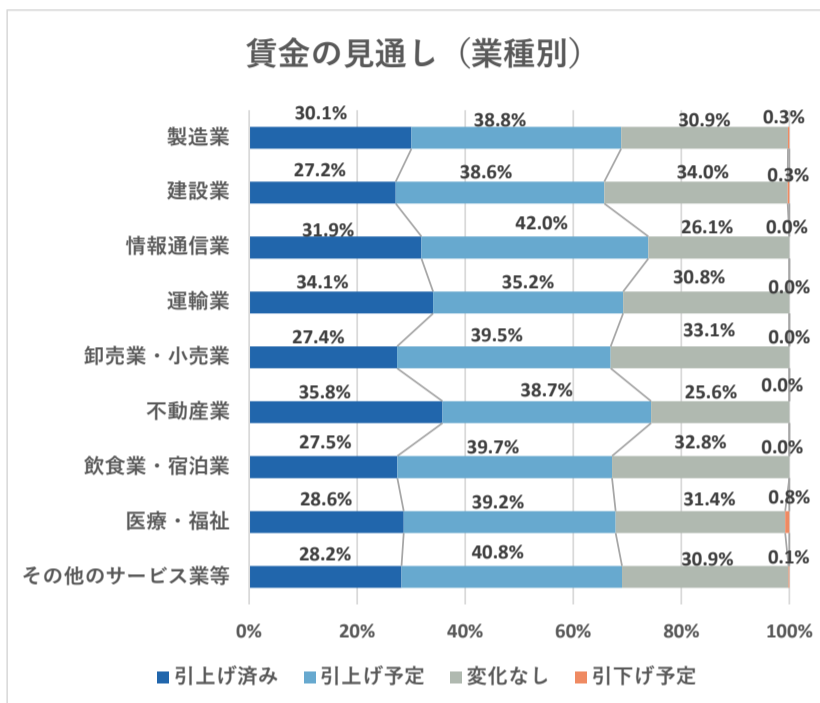
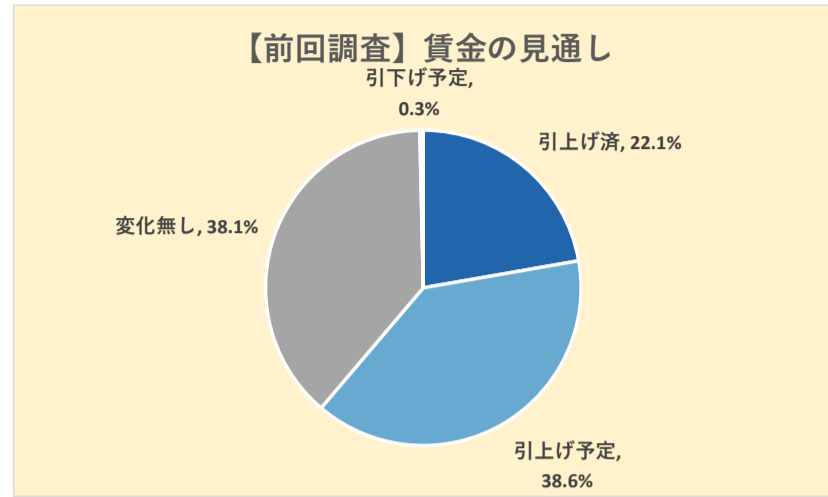
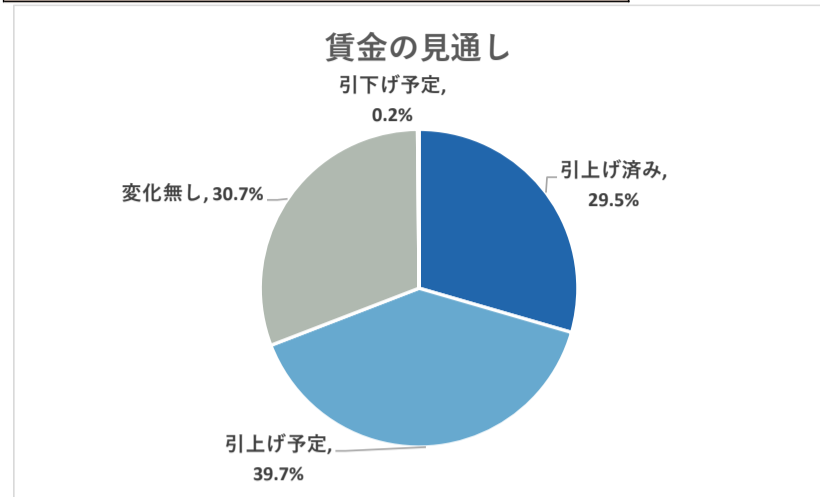
質問U) 現在の利益の傾向はいかがですか



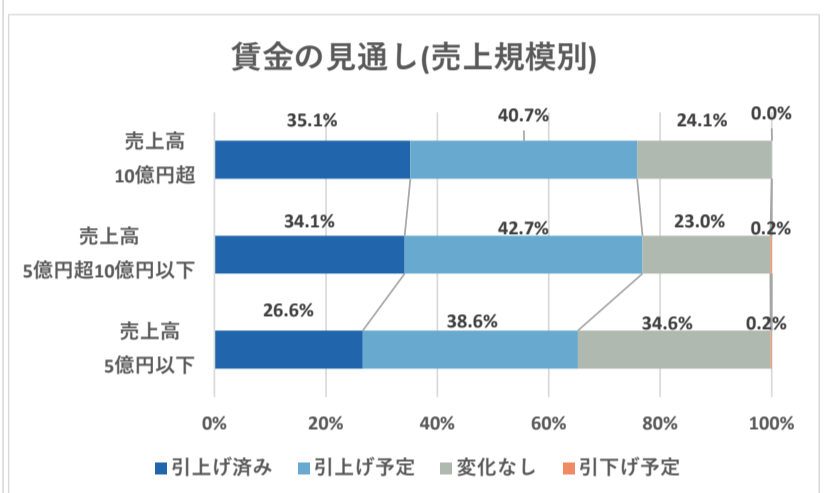
質問V) 1年後の利益の見込みはいかがですか



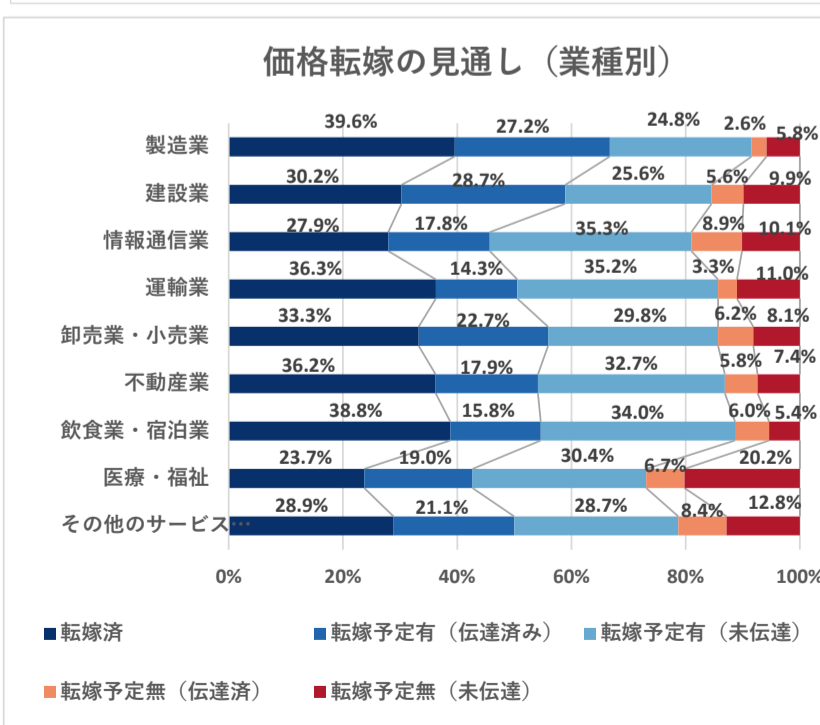
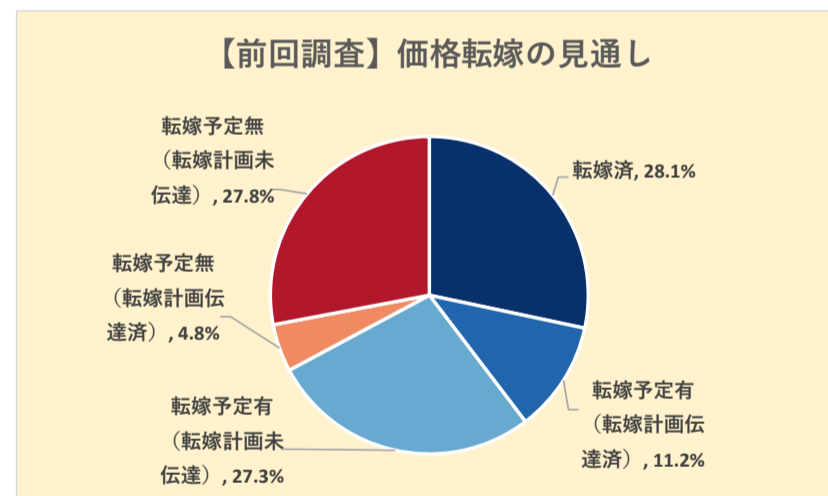
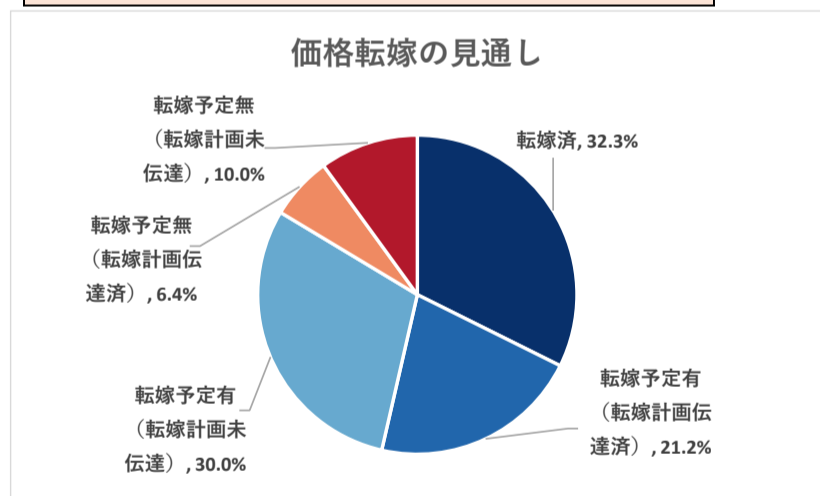
質問W) 賃金の見通しは次のうちどれですか



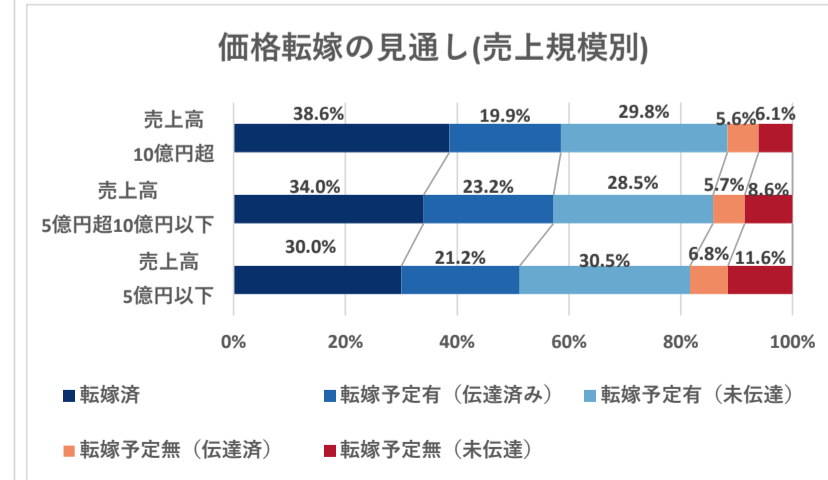
今回の調査結果と約半年前の【前回調査】の結果を比較すると、今回の方が「引上げ済」「引上げ予定」ともに増えており、賃上げが進んでいることがわかります。



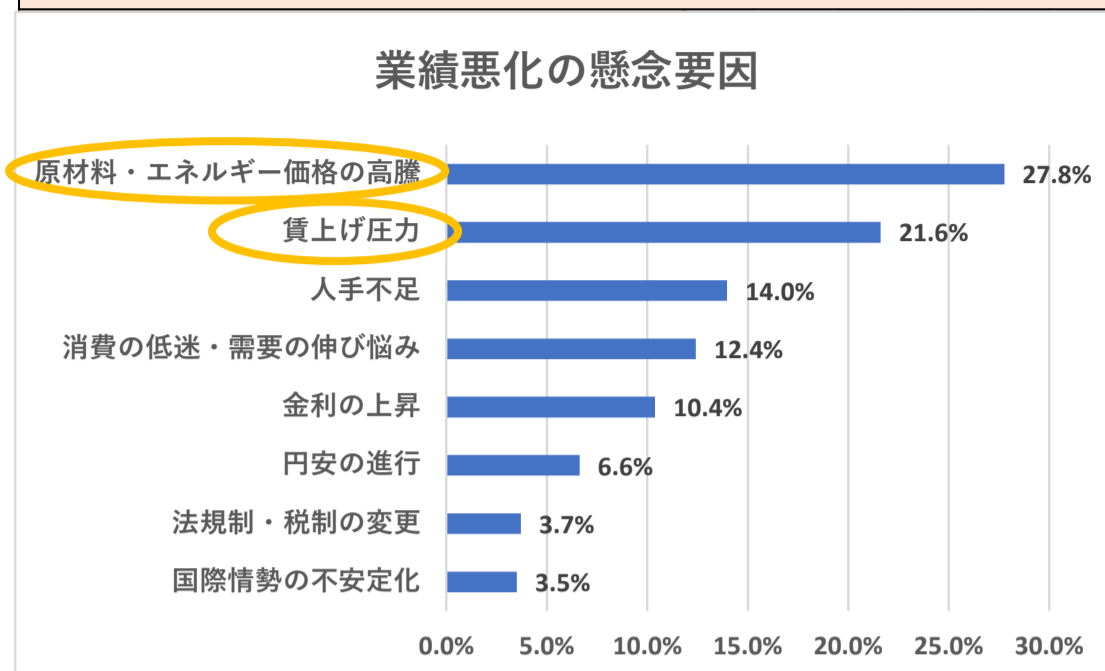
質問X) 価格転嫁の見通しは次のうちどれですか



今回の調査結果と約半年前の【前回調査】の結果を比較すると、今回の方が「転嫁済」「転嫁予定有 (転嫁計画伝達済)」「転嫁予定有 (転嫁計画未伝達)」がそれぞれ増えており、価格転嫁が進んでいることがわかります。



質問Y) 今後1年間、業績悪化の要因として懸念されるのは次のうちどれですか ※複数選択可



今後1年間の業績悪化の懸念要因として、「原材料・エネルギー価格の高騰」と「賃上げ圧力」の2つの回答が抜き出て多くありました。

○西武信用金庫の事業支援サービス

西武信用金庫は、お客さまのご要望に関し様々な支援メニューを取り揃えております。

まずは、当金庫お取引店の担当者にご相談ください。

本文書は、西武信用金庫が著作権その他の権利を有する営業秘密です。
当金庫の許可なく複製し利用すること、また漏洩することは
「著作権法」および「不正競争防止法」によって禁じられております。